

平成22年度 事務事業評価

整理番号
2-61

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	06	01	01	02	01
細事業名		農業委員会活動事業				

担当部局	
担当課等	担当課長の氏名
農業委員会事務局	引野 都夫
	担当者の氏名
	矢野 義則

PLAN		
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策)	I 交流経済都市
	計画項目 (施策)	② 農林業の振興
	施策方針	1-9 足腰の強い農業の基盤づくり
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 優良農地の確保や農地の有効利用を図り、地域農業の発展に取り組む。また、農業者の代表として意見を公表する等農政活動を行なう。	事業の目的 優良農地の確保と、地域農業の振興に取り組む。また、農業者の代表として農政活動を行なう。
	平成26年度事業の効果目標	(平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 農地部会で農地の売買や転用等について、農地法に基づき許認可等を農業者を代表とする機関として、公正に審査した。また、農政部会、運営委員会、広報部会等開催し、農政関係の活動に取り組んだ。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 農地部会12回・農政部会6回・運営委員会3回を開催した。

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入	
	節	金額(千円)	項目	名称 金額(千円)
財源内訳	1	6,283	国庫支出金	
	4	68	府支出金	農業委員会交付金 4,984
	9	723	起債	
	11	718	分担金・負担金	
	13	428	その他	
	14	188		
	18	753		
	19	822	一般財源	4,999
事業費合計		9,983	合計	9,983

CHECK		
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか	
	○ 進捗している(できている)	理由 計画どおりの活動が達成できた。
	○ ▲ 少し遅れている(少しできていない)	
	○ × 遅れている(できていない)	
効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか		
○ 削減の余地がなかった	理由 活動の継続が必要であり、コスト削減の余地はない。	
○ ▲ 少し削減の余地があった		
○ × 削減の余地があった		

ACTION		
改善	事業内容の方向性	
	A A 現状維持	理由 農業・農村を取り巻く諸情勢のなかで農業委員会の果たす役割は大きく、今後も事業を継続していくことが必要である。
	B B 内容の見直し	
	C C 統廃合・休止・終了	
	事業規模の方向性	
	B B 現状維持	理由 事業継続のためにも現状維持が不可欠である。
A A 事業拡大		
C C 事業縮小		

平成22年度 事務事業評価

整理番号
2-62

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	06	01	01	03	01
細事業名		農業者年金事務				

担当部署	
担当課等	担当課長の氏名
農業委員会事務局	引野 都夫
	担当者の氏名
	矢野 義則

PLAN		
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策)	I 交流経済都市
	計画項目 (施策)	② 農林業の振興
	施策方針	1-9 足腰の強い農業の基盤づくり
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 農業者の老後生活の安定と福祉の向上を図る。	平成26年度事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 農業者年金加入者・農業者年金受給者の適正な資格管理等を実施する。

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 農業者年金受給者・農業者年金加入者・農業者年金加入対象者に資格管理等が適正に行なえた。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 農業者年金加入者59人・農業者年金受給者626人の適正な管理等ができ成果があった。

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
予算科目	9	38	財源内訳	国庫支出金	
	11	356		府支出金	
	12	200		起債	
	14	50		分担金・負担金	
			その他	農業者年金事務委託金	643
			一般財源		1
事業費合計		644	合計		644

CHECK								
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか							
	<table border="1"> <tr> <td>○</td> <td>進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">農業者年金加入者・農業者年金受給者の適正な資格管理等ができ、事業の目標は達成できた。</td> </tr> <tr> <td>▲</td> <td>少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>×</td> <td>遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○	進捗している(できている)	理由	農業者年金加入者・農業者年金受給者の適正な資格管理等ができ、事業の目標は達成できた。	▲	少し遅れている(少しできていない)	×
○	進捗している(できている)	理由	農業者年金加入者・農業者年金受給者の適正な資格管理等ができ、事業の目標は達成できた。					
▲	少し遅れている(少しできていない)							
×	遅れている(できていない)							
評価	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか							
	<table border="1"> <tr> <td>○</td> <td>削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">資格管理等の事務は毎年点検等が必要で、経費削減の余地はない。</td> </tr> <tr> <td>▲</td> <td>少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>×</td> <td>削減の余地があった</td> </tr> </table>	○	削減の余地がなかった	理由	資格管理等の事務は毎年点検等が必要で、経費削減の余地はない。	▲	少し削減の余地があった	×
○	削減の余地がなかった	理由	資格管理等の事務は毎年点検等が必要で、経費削減の余地はない。					
▲	少し削減の余地があった							
×	削減の余地があった							

ACTION				
改善	事業内容の方向性			
	A	A 現状維持	理由	農業者年金事務は、受給者・加入者のために今後も必要な事業である。
		B 内容の見直し		
		C 統廃合・休止・終了		
	事業規模の方向性			
	B	A 事業拡大	理由	農業者年金受給者・加入者が685人おり、事業規模については現状維持が必要である。
B 現状維持				
C 事業縮小				

平成22年度 事務事業評価

整理番号
2-63

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	06	01	01	05	01
細事業名		農業経営基盤強化事業				

担当部局	
担当課等	担当課長の氏名
農業委員会事務局	引野 都夫
	担当者の氏名
	矢野 義則

PLAN		
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策)	I 交流経済都市
	計画項目 (施策)	② 農林業の振興
	施策方針	1-9 足腰の強い農業の基盤づくり
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 京丹後市内にある国有農地・開拓財産の管理	平成26年度事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 市内にある国有農地・開拓財産の管理を行なう。

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 京丹後市内にある国有農地・開拓財産をパトロール等により管理する。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 京丹後市内にある国有農地・開拓財産をパトロール等により管理できた。

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入	
	節	金額(千円)	項目	金額(千円)
事業費合計	9	10	国庫支出金	
	11	7	府支出金	強化事業事務取扱交付金 20
	12	5	起債	
			分担金・負担金	
			その他	
事業費合計		22	一般財源	2
			合計	22

CHECK	
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか
	<input type="radio"/> 進捗している(できている) <input checked="" type="radio"/> ▲ 少し遅れている(少しできていない) 理由 適正な管理ができ、目標は達成できた。 <input type="radio"/> × 遅れている(できていない)
評価	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか
	<input type="radio"/> 削減の余地がなかった <input checked="" type="radio"/> ▲ 少し削減の余地があった 理由 適正な管理をするために削減の余地は無い。 <input type="radio"/> × 削減の余地があった

ACTION		
改善	事業内容の方向性	
	A 現状維持	理由 国有農地・開拓財産の管理を行なうため、現状維持の方向でいく。
	B 内容の見直し	
	C 統廃合・休止・終了	
	事業規模の方向性	
	B 現状維持	理由 国有農地・開拓財産の管理を行なうため、現状の事業規模が必要。
A 事業拡大		
C 事業縮小		

平成22年度 事務事業評価

整理番号
2-64

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	06	01	01	06	01
細事業名		農地調整事務処理事業				

担当部局	
担当課等	担当課長の氏名
農業委員会事務局	引野 都夫
	担当者の氏名
	矢野 義則

PLAN		
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策)	I 交流経済都市
	計画項目 (施策)	② 農林業の振興
	施策方針	1-9 足腰の強い農業の基盤づくり
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 健全な農地利用を促進するため、農業委員会で農地利用に関する相談、和解の仲介等を行なう。	事業の目的 健全な農地利用を促進するため、農業委員会で農地利用に関する相談、和解の仲介等を行なう。
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか)	平成26年度事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)
		農地に関する相談・和解の仲介等を行なう。

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 農業者を対象に農地利用に関する相談、和解の仲介等を行なう。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 農地利用に関する相談を行なった。

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入	
	節	金額(千円)	項目	金額(千円)
	9	10	国庫支出金	
	11	14	府支出金	農地調整事務処理事業補助金 23
			起債	
			分担金・負担金	
			その他	
			一般財源	1
事業費合計		24	合計	24

CHECK							
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか						
	<table border="1"> <tr> <td>○</td> <td>進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由 農地相談はあり、目標は達成できた。</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>× 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○	進捗している(できている)	理由 農地相談はあり、目標は達成できた。	○	▲ 少し遅れている(少しできていない)	○
○	進捗している(できている)	理由 農地相談はあり、目標は達成できた。					
○	▲ 少し遅れている(少しできていない)						
○	× 遅れている(できていない)						
評価	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか						
	<table border="1"> <tr> <td>○</td> <td>削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由 健全な農地利用を促すために削減の余地はない。</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>× 削減の余地があった</td> </tr> </table>	○	削減の余地がなかった	理由 健全な農地利用を促すために削減の余地はない。	○	▲ 少し削減の余地があった	○
○	削減の余地がなかった	理由 健全な農地利用を促すために削減の余地はない。					
○	▲ 少し削減の余地があった						
○	× 削減の余地があった						

ACTION							
改善	事業内容の方向性						
	<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>A 現状維持</td> <td rowspan="3">理由 農地利用に関する相談、和解の仲介等を行なうために、現状維持でいきたい。</td> </tr> <tr> <td>A</td> <td>B 内容の見直し</td> </tr> <tr> <td>A</td> <td>C 統廃合・休止・終了</td> </tr> </table>	A	A 現状維持	理由 農地利用に関する相談、和解の仲介等を行なうために、現状維持でいきたい。	A	B 内容の見直し	A
A	A 現状維持	理由 農地利用に関する相談、和解の仲介等を行なうために、現状維持でいきたい。					
A	B 内容の見直し						
A	C 統廃合・休止・終了						
改善	事業規模の方向性						
	<table border="1"> <tr> <td>B</td> <td>A 事業拡大</td> <td rowspan="3">理由 農地の有効利用を図るため、現状の規模でいきたい。</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>B 現状維持</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>C 事業縮小</td> </tr> </table>	B	A 事業拡大	理由 農地の有効利用を図るため、現状の規模でいきたい。	B	B 現状維持	B
B	A 事業拡大	理由 農地の有効利用を図るため、現状の規模でいきたい。					
B	B 現状維持						
B	C 事業縮小						